

海特第 77号
令和3年7月7日

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立海津特別支援学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津特別支援学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年 6月23日(水) 13:15~15:15
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

| | | |
|-----|-------|-----------------------|
| 会長 | 水谷 芳郎 | 有限会社吉野屋 代表取締役 |
| 副会長 | 児玉 泉 | 民生委員(主任児童委員) |
| 委員 | 高岡 由香 | 障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長 |
| | 大橋恵美子 | 共同生活援助 れんげの家 所長 |
| | 細井 豊年 | 海津市平田町今尾地区 前区長 |
| | 飯田かゆ美 | 海津市更生保護女性会 会長 |
| | 田内 和子 | 輪之内町発達支援センターそら 管理者 |
| | 佐藤沙奈恵 | 海津特別支援学校 PTA会長 |
| 学校側 | 各務 美保 | 校長 |
| | 神谷佳代子 | 教頭 |
| | 武藤小百合 | 事務長 |
| | 栞原 正美 | 小学部主事 |
| | 馬淵 陽子 | 中学部主事 |
| | 山田 理嗣 | 高等部主事 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営について

- ① 学校経営計画及び組織編成
- ② 教育課程の編成
- ③ 年間行事計画
- ④ 授業参観

意見1:学校のことをもっと地域の方に知っていただけるとよい。拡大新聞などを今尾地区で見たことがあるが、他には掲示しているのか。

⇒ 輪之内町の図書館など6か所に拡大新聞を掲示している。また、昨年度学校評議員会で意見から、年に5回発行している学校新聞を今尾地区の回覧板で回覧していただいている。

- 意見2：一時に比べると児童生徒数が半分程度になった。そのメリットを生かして、コロナ禍で密を避けながら、空き教室も上手に利用しながら活動できるとよい。ただ、子どもたちに手をかけすぎないようにしたい。
- 意見3：性教育の授業をしていたが、とても大切なことを在学中に教えていただいていると思う。きちんとした性教育によって、その後の生活がスムーズにいく。
- 意見4：先生方が子どもたちにとっても丁寧にかかわっていることが分かり、安心した。
- 意見5：療育の施設にいるが、就学にあたって年長の保護者に見学などを実施していただくとありがたい。
- ⇒ いつでも見学を受け入れることはできる。コーディネーターがいるので、問い合わせてもらいたい。
- 意見6：中学部から海津特別支援学校に入学されたお子さんが、本日高等部の授業でとても頑張っている姿を見た。この学校で学んだことがよかったのだと思う。
- ⇒ ひとりひとりの児童生徒が、どのような場で学ぶことがよいかは異なる。集団で学ぶことがよい児童生徒もいる。その子にとってどこで学ぶことがよいかを考えたい。地域での学びも大切である。地域の中で学ぶことが難しい児童生徒については、本校の「センター的機能」で相談にのることができる。
- 意見7：ライフステージという考えが大切である。子どもは大人になる。大人になってから慌てないようにするためにも、次が見えることは大切である。施設を運営しているが、施設と地域をつなぐことは難しい。学校にいる頃から地域とつながっていると将来地域の中で子どもたちが生きられる社会になるのではないかと思う。
- 意見8：例年は、この時期には、「校内作業実習」を見せていただくのだが、今回はコロナの関係でやっていないのか。
- ⇒ 「まん延防止等重点措置」が岐阜県に適用され、「就業体験」を7月に延期としたため、併せて「校内作業実習」も7月に延期としている。
- 意見9：これから暑くなって冷房をかけるが、新型コロナウイルス感染症対策としてしっかり換気を行うべきである。
- ⇒ コロナウイルス感染症対策の様々な対策を行っている。換気に関する細かな規定を設定し、それを守って活動している。
- 意見10：地域の中に障がいのある人と、ない人との接点があるとよい。本校の子どもたちも保育園では同じ場で学び、地域で知っていただいているいろいろ助けていただいた。小学校では、学校間交流・居住地高校流があり、地域の子どもたちとの接点がある。中学校になると学校間交流も特別支援学級との交流となり、通常の子どもたちとの接点が薄くなっていく。高等部になると海津明誠高等学校との交流となり、地域の人たちとの接点がさらに薄くなってしまふ。卒業したらどうなるのか心配である。今は、コロナ禍で難しいが、地域の人との接点が多い、開かれた学校にしてもらいたい。将来安心して子どもたちが地域に暮らせるようにしたい。

(2) 作業製品販売価格について

- 意見1：コロナ禍で、様々な行事・販売会が中止となっているが、作業製品の販売はどのようにしているのか。
- ⇒ 職員・保護者に向けて販売を行っている。また、昨年度は、地元の業者の方が、年始の景品にと干支の置物を注文いただき、300個ほど販売した。
- 意見2：コロナ禍で販売会が中止となっているのが残念である。一般の方が買うことができる方法を考えてほしい。

意見3：新しい製品がいろいろ開発されている。とても手が込んでいる製品も多い。少し安いのではないか。子どもたちの製作意欲がわく価格にしたい。また、ここに来たらこの製品が購入できるという状況になるとよい。

意見4：周りの人たちは、販売会を楽しみにしている。早く販売ができる環境になってほしい。

⇒ 現在、コロナ禍で、校外販売は中止している。販売については今後、県と相談しながら進めていきたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針及び、作業製品販売価格について承認が得られた。